

令和4年度  
中城湾港泡瀬地区環境保全・創造検討委員会

第1回 委員会資料

令和3年度実施した人工島試験運用の紹介

令和4年6月3日

内閣府沖縄総合事務局開発建設部  
沖縄県土木建築部  
沖縄市東部海浜開発局



## 試験運用とは

干潟を中心とした親水域としての保全・利用方針の検討の一環として、地域住民が運営主体となって試験運用を実施し、地域の自然環境、社会文化を地域の子供達に伝える。

また人工島供用後に設置予定の野鳥園等の施設の活用を想定し、地域の方々がスムーズに利活用するうえでの課題を取りまとめるとともに解決方法を検討する。

1

## 令和3年度実施した試験運用

- 11月14日：潮乃森ビーチクリーン
- 12月18日：凧作り&文化学習会
- 3月19日：凧揚げ

2

## 潮乃森ビーチクリーン

- 日時：2021年11月14日（日）9：30～12：30
  - 場所：泡瀬公民館、沖縄県総合運動公園、人工島ビーチ
  - 参加者：一般応募14名  
大人8名、児童6名（小学1年生～小学5年生）
- 主催：一般財団法人みなと総合研究財団  
➢ 共催：中城湾魅力づくりプロジェクト  
➢ 協力：中城湾港泡瀬地区 環境保全・創造検討委員会 ワークショップ

3

### ビーチクリーン



### 広報先一覧

- ・中城湾港出張所HP
- ・沖縄市計画調整課掲示板
- ・沖縄市立郷土博物館
- ・魅力づくりプロジェクト関連企業
- ・泡瀬復興期成会
- ・沖縄市東部地区11自治会
- ・沖縄市観光物産振興協会
- ・沖縄タイムス情報誌
- ・琉球新報情報誌
- ・昨年度海ごみ学習会参加者

### 広報資料

4

ビーチクリーン



中城湾魅力づくりプロジェクト 当真嗣蒲会長による開会の挨拶

ビーチクリーン



比屋根湿地清掃開会式

ビーチクリーン



ごみの分別・危険ごみの説明

ビーチクリーン



ごみ分別リスト

ビーチクリーン



ビーチクリーンの様子

9

ビーチクリーン



ビーチクリーンの様子

10

ビーチクリーン



ビーチクリーン振り返り

11

ビーチクリーン



ビーチクリーンで回収したごみ(30L袋×57)

12



アンケート記入

13

## アンケート結果① 参加者

## 【保護者】

- 子どもたちの環境問題について考えるきっかけとなった。
- 分別の方法について事前に説明があり、分別ごとに袋を分けていたのでごみ拾いがやりやすかった。
- できれば全部拾いたかったが時間が足りず無念。
- スタッフからごみや生き物の話が聞けて良かった。

## 【児童】

- ペットボトルや軽くて海に浮きそうなごみが落ちていた。
- 海にこんなにごみがあるんだと思った。
- 勉強になった。また参加したい。
- 海の生き物が安心して暮らせるようにごみを減らしたい。

14

## アンケート結果② スタッフ

- 漂着ごみは次から次へと押し寄せてくるので回数を増やし、定期的実施する必要がある。人工島ビーチのPRにもなる。
- 参加人数に対する実施エリアや時期はちょうど良く、必要なものが準備されており、ごみの分別がスムーズに行っていた。
- 地域行事と連携して行い協力を得られたことから、収集したごみの処理を負担なく行えた。
- 今回の参加人数・対象ならば、学習要素も入れた方が良いと思う。スタッフがもう少しごみや自然について解説できるとよい。
- 人工島ビーチについて参加者に説明があれば、尚一層ビーチクリーンの意義が高まると思う。
- 昨年度からの参加者が多く、広報に効果があったのか分からない。環境問題に関心の高い人達がどのような情報源から情報を入手しているか確認する必要がある。

15

## 評価

- 安全面を含めて当日の運営は滞りなく実施できた。
- 地域行事と連携することでごみ処理の負担を軽減することができた。

## 課題

- 参加者の規模や属性に応じた環境学習要素の追加や参加者に継続的に参加してもらうための工夫を検討する必要がある。
- 環境問題に関心の高い人達への効果的な広報手段を検討する必要がある。

16

# 凧づくり・凧揚げ&文化学習会



- 主催: 中城湾魅力づくりプロジェクト
- 共催: 沖縄市
- 協力: 中城湾港泡瀬地区 環境保全・創造検討委員会 ワークショップ

17

凧

## ◎ 凧づくり・文化学習会

- 日時: 2021年12月18日(土) 9:00~12:00
- 場所: 学習支援ひろば「くじら寺子屋」
- 参加者: 学習支援ひろば「くじら寺子屋」  
(児童17名、スタッフ等8名)
- 講師: 和宇慶 朝健 氏  
(沖縄県立芸術大学 名誉教授)

18

凧



中城湾魅力づくりプロジェクト 当真嗣蒲会長による開会の挨拶

19

凧



凧についての学習会  
講師: 和宇慶 朝健 氏 (沖縄県立芸術大学 名誉教授)

20



凧作りの説明  
 講師：和宇慶 朝健 氏（沖縄県立芸術大学 名誉教授）



参加者による凧づくりの様子

## ◎ 凧 揚 げ

- 日時：2022年 3月19日（土） 9:00～12:00
- 場所：泡瀬地区人工島ビーチ
- 参加者：学習支援ひろば「くじら寺子屋」他  
 （児童20名、スタッフ等12名）
- 講師：和宇慶 朝健 氏  
 （沖縄県立芸術大学名誉教授）



凧揚げの説明  
 講師：和宇慶 朝健 氏（沖縄県立芸術大学 名誉教授）



人工島での凧揚げの様子



人工島での凧揚げの様子



人工島での凧揚げの様子



中城湾魅力づくりプロジェクト 伊佐真一郎副会長による閉会の挨拶

## アンケート結果① 参加者

凧

### 【保護者】

- 凧作りは意外と難しそうでしたが、みんな時間内で仕上げられていたので、大人のサポートは大事だと思いました。
- 楽しいイベントなのでぜひ続けてほしいです。
- 凧揚げは広い場所で電線を気にせずに揚げるのができて良かった。

### 【児童】

- 凧作りは先生達と話しながら作ったからとても楽しかった。
- 凧作りは結構作業があって道具も多くて難しかった。
- 凧に絵を書くのが楽しかった。
- 凧揚げのお手本をみてやったので簡単だった。

29

## アンケート結果② スタッフ

凧

- 凧づくりの際、子ども的人数に対して大人も多くいたため、作業が遅れている子を取り残すことなく、必要に応じて手伝うことができていた。
- 継続したイベントになっているため、運営がスムーズになっている。
- 凧糸を離してしまう子供が(例年よりも)多かったように思うので、注意喚起が必要。
- 今回凧づくりに使われたビニールはイメージ的にもマイクロプラスチックに直結しますし、せっかく、凧の「文化学習」も含まれているので、使用する素材も昔使われていたものに近いものなどが準備できると面白いのではないか。
- 凧揚げに関して、主催者側として動員体制が弱く、現場での安全対策の面で関係機関のみなさんに迷惑をかけることになった。今後の課題は、会員に広く呼びかけ協力を強化していきたい。

30

## 評価

凧

- 凧糸が絡まる等の昨年度の問題点に対し、注意点を解説しながら凧揚げのデモンストレーションを示す等の対策をとったことから、参加者がスムーズに凧揚げを実施することができた。

## 課題

- 開催内容、規模が例年同じになっている。将来的にこのイベントをどうしたいかというビジョンを確認し、そのビジョンの実現に向けて課題を解決しながら、取り組みを継続していった方がより良い改善につながるのではないか。そのような時期に来ていると思う。

31